

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

1. <宮城県 水産練製品>  
人手不足の状況で賃金が上昇しており、原料価格も高止まりしてコストアップになっている。
2. <福島県 菓子>  
年末用の材料仕入や賞与支給等で資金繰りが非常に悪化しそうだ。
3. <埼玉県 肉加工品>  
価格相場が500円～550円以上で推移し、前年比50～100円高値の状況。相場高が続き、消費者が輸入物に流れているようだ。
4. <神奈川県 干物>  
最低賃金の引き上げで従業員全体の昇給をせざるを得ないことに加えて、原料魚の不漁による仕入価格の高騰が経営を圧迫している。
5. <岐阜県 米菓>  
副資材・燃料等が高値傾向にあり、売上に変化はないが利益が減少。一部商品の値上げも見られるが、全体的に価格は低迷したままである。
6. <富山県 パン>  
HACCP導入で多額の設備投資が必要あり、企業統合を検討せざるを得ない。
7. <和歌山県 パン・菓子>  
前年同月比で小麦粉・チョコレート・生クリーム等の仕入価格が上昇し、収益が悪化。厳しい年末になりそうである。
8. <島根県 水産練製品>  
気温の低下でおでん・揚げ物の動きが良いが、原料価格は今年前半よりも3%～5%上昇。さらに燃油、運賃等のコストも上昇傾向。また人手も足りず、パート賃金を上げてても反応がないため、外国人労働者を雇用するケースが急増している。
9. <高知県 水産食料品>  
鰹の不漁・高値が深刻な状況。少々の値上げでは利益も出ないが、それも実現できない模様。
10. <鹿児島県 漬物>  
原料在庫が乏しく、11月後半から沢庵用を入荷する予定だったが、台風や日照不足等で生産が遅れて計画通りには収穫できず。また一般小売用の動きも停滞している。

#### 繊維・同製品製造業

- 1.1. <秋田県 繊維>  
生産工場の受注は順調だが、人材不足で生産性が低下傾向にある。
- 1.2. <群馬県 外衣・シャツ>  
ニットは冬物の納品が最盛期で在庫数量が減少し、収益状況も好転。繊維製品も天候の影響等で冬物の追加注文が増加している。
- 1.3. <東京都 帆布製品>  
10月の台風による生産被害で仕事が翌月に延びたため、今月の売上は良かったが、平均では例年並み。また組合員の仕事量にも差が大きく、人手不足・後継者難も継続している。

14. <新潟県 外衣>  
急な気温低下に伴い、防寒衣料の動きが活発で紳士婦人コートの追加生産に追われている。
15. <福井県 絹人織織物>  
絹織物の中国産糸価格が急上昇。若干の仮需はあるが、現在の糸値では採算が合わない。
16. <京都府 織物>  
生産計画が大幅な下方修正を迫られていることに加えて、中国産糸の価格も高騰を続けており、来年春まではこの状態が継続する見通しであることから生産への影響が危惧される。
17. <香川県 手袋>  
首都圏の寒波で販売低迷は底を脱した感があるが、景況感にはバラツキがある。また納入先からの発注遅れで未だに製造に追われている企業もあるが、バーゲン用に使われそうだ。

#### 木材・木製品製造業

18. <北海道 一般製材>  
既に1月分の受注も受けているが、原木入荷が相変わらず少ないために生産効率が悪化。
19. <秋田県 一般製材>  
多忙な割には製品価格が上がらず、原木価格のみが高騰して収益状況が悪化している。
20. <福島県 製材>  
原木が天候不順から杉・赤松・唐松の出材が少ない。広葉樹も雨の影響から同傾向。
21. <岡山県 木材・木製品>  
原木は出材期で製材品の実需期だが、台風被害等の影響から出材が若干少ない。杉・桧ともに構造用材は強含みで特に桧の良材は引き合いが強い。
22. <徳島県 木材>  
売上高・収益状況は悪化。年の暮れが近づいているが、県内景気が回復している気配は全くない。毎年のおおり、不景気感の漂う年の瀬である。
23. <福岡県 木材・木製品>  
年末に向けて生産・操業が繁忙となっているが、この動きは例年通り。
24. <宮崎県 製材>  
住宅・非住宅ともに受注は好調だが、年内上棟・年度内引き渡しの物件が増加しており、早急に対応しなければならない。どの部門も設備と人員のキャパが一杯になっており、納期を変更せずに乗り切れるか不安である。
25. <鹿児島県 木材・木製品>  
夏場の豪雨や連続台風等の影響で原料用丸太が不足傾向にあり、原材料相場も上昇。製材製品価格は、今後も製品安の展開が懸念されており、収益悪化が危惧される。

#### 紙・紙加工品製造業

26. <愛知県 段ボール>  
年末年始のギフトや正月需要等が増加して操業度が上がり、売上もやや増加。ただし、クリスマス・お節関連は低迷傾向。工業系は輸出関連を中心に依然強含みで推移している。
27. <三重県 紙器段ボール>  
気温が下がり、冬物商品や食品等を中心に荷動きが前年よりやや上昇。原紙値上げに伴う段ボールシートと段ボールケースの値上げ交渉を行っている。
28. <京都府 紙製容器>  
精密機器半導体や自動車関連等は堅調だが、一部材料の機械部品が入手できない状況があり、発注はあっても出荷待ちとなっている案件がある。

29. <大阪府 シール印刷>

贈答用食品を中心に受注増だが、年末商戦が一段落するとまた厳しい状況が続くそうである。

30. <愛媛県 機械すき和紙>

原料（古紙・パルプ）や運賃の値上げによるコストアップが収益を悪化させている。

31. <高知県 機械すき和紙>

年末に向けて荷動きは順調だが、パルプ価格が急上昇して収益は悪化。12月もさらなる大幅値上げが控えており、人手不足も含めて不安材料が多い。

## 印刷

32. <福島県 印刷>

復興需要が無くなり、各社ともこの数ヶ月は売上が前年を下回る状況が継続。運送費や原材料の値上げもあり、収益環境が非常に厳しい。

33. <兵庫県 印刷>

年末需要が出始めているが、原燃料価格上昇による印刷用紙の値上げや労働力確保に伴う運賃の値上げ等が相次ぎ、値上がり分のコスト吸収も限界を超えそうだ。

34. <滋賀県 印刷>

中旬あたりから歳末商戦に向けてのチラシ等、多少は年末に向けて動きが出ているが、決して景気が上向いてはいない。

35. <島根県 印刷>

製紙各社が原燃料価格上昇を理由に印刷用紙の値上げを断行。また運送業界も労働力確保を理由に運賃値上げを実施しており、値上がり分のコスト吸収は最早限度を超えている。

36. <岡山県 印刷>

年末を前に受注は平常月に比べて多いが、前年よりも幾分低調。また印刷用紙の値上げや運賃値上げの要請があり、収益が厳しくなっている。

## 化学ゴム

37. <神奈川県 石油製品>

ガソリン価格が11週連続の上昇。原油の高止まりと石油需要の減少に伴う製油所の統廃合に加えて、余剰分の製品が減少して価格競争が緩んでおり、給油所には仕入価格の上昇を転嫁しやすい環境になっている。

38. <長野県 プラスチック製品>

売上は成形品ならびに金型受注で前年度を下回った。販売不振が要因。

39. <奈良県 プラスチック>

業況は順調だが、材料費の上昇と雇用難が懸念材料である。

40. <和歌山県 化学工業>

先月は年度来最高の出荷量・額だったが、今月は通常ペースに戻った。為替が112円～113円台で安定しているが、輸入原材料や原油も高騰しており、地政学リスクと相まって不安が残る状況である。

## 窯業・土石製品製造業

41. <山形県 コンクリート製品>

熟練者の退職者が続き、人手不足への懸念に加えて、資材価格の高騰も重なり厳しい状況。

42. <山梨県 骨材・石工品等>

年度の繁忙期を向かえるが、前年比では工事量は少なく、骨材需要も低調。

43. <福井県 瓦工業>

10月の台風の影響が年末まで継続。小規模工事が多く、手間が掛かる。天候が悪い日も続いて修理も効率よく進まない。

44. <愛媛県 窯業>

仕事量の減少傾向に加えて、職人や作業員の確保が困難。職人不足で受注が出来なくなりつつある。

45. <佐賀県 陶土>

共同販売高は対前年同月比96.2%、対前月比約100.3%で推移。販売額の減少に歯止めが掛からない。収益状況の改善が進まないために今後の安定供給にも影を落としている。

46. <大分県 屋根>

11月は例年どおり、年末にかけて仕事が増加しており、忙しい企業が多い。

### 鉄鋼・金属製造業

47. <茨城県 鍍金>

仕事量は全体で前年同月比10%程度上昇。業務的には電子機器関連の部品、建設機械は一部の部品が忙しい。また金属材料は全般に値上がりしており、燃料費も上がっている。

48. <千葉県 鉄工業>

景況感は全体的に良好。受注は堅調だが、人手不足から生産体制の維持に苦慮している企業が多い。省力化の設備投資を検討する事案が増えている。

49. <東京都 ダイカスト製品>

自動車部品を中心に売上が続いているが、材料費も上昇。また人手不足が深刻な状況にあり、生産要員の不足から製造にも支障が出ている。

50. <静岡県 金属製品>

日産自動車のデータ不正問題で一部が出荷停止となり、操業度の低下が出ている。

51. <愛知県 金属熱処理>

売上が増加しても原油高による燃料費等の上昇で収益が相殺されている。

52. <岐阜県 金属製品（輸出）>

円安が継続し、米国景気も好調なために受注は良好。しかし、主要資材や石油関連材の値上がりからコスト的には厳しく、何とか受注量でカバーしている。

53. <三重県 鍍金>

国内自動車の販売台数は低迷しているが、自動車関連部品の鍍金は増産傾向にある等、海外向けが多い。工作機械関連も順調に伸びている。全体的に堅調に推移。

54. <滋賀県 機械部品>

原材料が高騰し、価格転嫁が出来ずに収益は悪化。来年度の新規採用も苦戦している

55. <鹿児島県 機械金属>

大勢に変化はないが、一部に売上げや資金繰りの好転も見られる。しかし、工程遅延や人材不足、材料の品薄が大きな課題。今後も人件費や材料価格の上昇に注意が必要。

56. <沖縄県 鉄鋼>

売上高、販売価格が前年同月比で上昇。しかし、鋼材は建築物の着工・工期遅れがあり、出荷時と契約時で価格のギャップが生じているため、収益は悪化傾向にある。

### 一般機器製造業

57. <栃木県 一般機械器具>

前年同月比では、若干売上高等の増加も見られるが、全般的には不変。また人手不足から納期や増産対応が厳しい。

58. <埼玉県 一般機器>

売上は増加傾向だが、短納期対応で残業代が上昇しており、収益は向上しない。

59. <石川県 機械工作鋳金>

全業態で全般的に好調だが、受注増のためにメーカーは部品在庫を確保する傾向にあり、一部機械部品の品薄、納期の長期化が発生。また繁忙で人手不足が顕著になっている。

60. <京都府 一般機械器具>

大半の企業で繁忙を極める状況が続いているが、慢性的な人員不足で受注制限を余儀なくされるケースも多い。

61. <大阪府 金属熱処理>

自動車、産業機械等の分野が好調で、さらなる増産も求められているが、データ不正問題の影響から取引先の鋼材メーカーの出荷が遅れており、納期対応の負担になっている。

62. <奈良県 機械>

業況はやや好転しているが、人手不足が深刻。従業員の高齢化や退職者の補充が困難である。外国人雇用を検討する企業も増えている。

63. <徳島県 機械金属>

全体的には売上高・収益状況等は好調だが、将来に対する不透明感も依然として強く、景気回復の実感に乏しい。また熟練技能者・従業員の確保難も依然継続している。

64. <香川県 一般産業用機械・装置>

生産量は上昇傾向だが、人手不足が深刻。中でも建設用鉄骨加工は熟練技能者から鉄筋、型枠工に至る全職種で採用が困難な状況。採算面も輸入原材料や鋼材の値上げ、人件費の高騰から経費負担が増加している。

### 電気機器製造業

65. <山梨県 電気機器>

ボーイング787機の機体製造関連の発注が増加。しかし、毎年のようにコストダウンが要請されているため、航空業界から離れる企業も増えている。

66. <長野県 その他の電子部品>

従業員2～3名の企業は発注側の増産要請に対応できないため、厳しい状況となっている。また残業規制の強化も中小にとって非常に苦しい。

67. <兵庫県 電気機器>

実働日減と日産自動車の不正問題から生産は減少。国内の自動車販売は、日産自動車が2か月連続で減少し、全体では前年同月比2.6%減となった。

### 輸送用機器製造業

68. <茨城県 自動車部品>

売上は徐々に上昇傾向だが、組合員企業間の格差は一層大きくなっている。

69. <群馬県 自動車・同部品>

自動車・電機関連は大手メーカーのデータ不正問題が少なからず影響を与えており、減産となっている。

70. <愛媛県 造船>

低船価で受注している船が多いために各社ともコストダウンに努めているが、資材価格の上昇もあり、大変に厳しい状況。

71. <大分県 輸送機器>

国内造船における難工事が増加。新規船種や将来を見据えて再参入して来た船舶等が増えており、想定以上に難度が高い工事に苦心している。

## その他の製造業

### 72. <愛知県 その他>

自動車メーカーの「無資格検査」問題は、しばらく厳しい状態が続くと予想される。EV生産における部品数減も将来的に大きな課題となりそうだ。

## 《非製造業》

### 卸売業

#### 73. <青森県 林檎>

前年に引き続き、数量が低迷。本年産の林檎はサビ果等が多く、小玉傾向のために上位等級品の仕入れは高値で推移。連動して下位等級品も高値となり、今後の販売に苦戦しそうだ。

#### 74. <岩手県 青果>

11月の低温と10月の台風の影響で特に葉物・洋菜の出荷が低迷し、極端な単価高。蜜柑も入荷量が少なく、取引金額が伸び悩んでいる。今後、お歳暮やクリスマス・年末商戦に入るが、入荷量の減少・単価高の影響で青果物の安定供給への懸念が非常に大きい。

#### 75. <秋田県 各種商品>

販売単価の値上げが難しく、需要も低迷しているために厳しい経営環境が続いている。

#### 76. <埼玉県 各種商品>

車両・燃料費の値上げ等、物流経費の上昇が収益を圧迫している。

#### 77. <千葉県 リサイクル>

中国向けの輸出動向に不確定な部分が多く、国内市況にも影響が出ている。

#### 78. <東京都 ボルト・ねじ等>

神戸製鋼の検査データ改ざん問題への対応に追われている。

#### 79. <奈良県 青果>

前月からの長雨で入荷が少なく、仕入価格は野菜類が前年同月比の20%高。売上額も販売単価の値上げから収益は前年同月比の15%減の状況。

#### 80. <山口県 各種商品>

11月に入り、急に気温が下がったため、冬物商品の売上増。

#### 81. <福岡県 紙製品>

国内古紙の在庫は潤沢だが、輸出市況は中国国内における古紙・原紙の高騰に伴い、輸入古紙を一時的に調達し始めた。11月以降は復調するとの見方が強かったが、ライセンスの取得枠が不透明で懸念が出ている。

#### 82. <熊本県 各種商品>

景況は前月とほぼ変わらないが、食料品は年末に向けて売上が若干増加。求人面は食品関係のパート・アルバイトの応募が少なく、人材確保に苦労している。

### 小売業

#### 83. <北海道 各種商品>

記録的な寒さと雪でガソリン・灯油価格が高値。野菜類も価格が高騰しており、生活必需品の値上がりから消費動向にも大きな影響が出ている。年末を控え、価格が安定してほしい。

#### 84. <宮城県 青果>

先月の台風の影響が残る中、早い寒波で生育や品質に大きく影響。入荷減と価格も暴騰して利益が出ない。売上高の増加は単価高というだけであり、消費動向は悪いままだ。

#### 85. <栃木県 花・植木>

曇天や長雨、また今月の急激な冷え込みで入荷量は増えず、前年比10%程度の単価高で推移。特に業務用の入荷が少なく、菊類は大幅に高騰。販売動向も低迷している。

#### 86. <千葉県 各種商品>

相変わらず消費者の節約志向が強い。特にファッション関連の買回り品の苦戦が目立つ。

87. <東京都 鮮魚>  
年末商戦を控えて、季節品の鮭、イクラ、蟹、蛸等の価格が急騰。収益の悪化が危惧される。
88. <神奈川県 青果>  
9、10月の長雨、低温、台風による塩害で葉物・果菜類の入荷が激減。特にレタス、キュウリ、トマト等が暴騰した。相場の高値が続いて需要も低迷。年末年始も出荷に不安がある。
89. <岐阜県 家電機器>  
業況に変化はなく、大型ディスカウントセンターやネット通販の影響で売上は低迷している。
90. <三重県 青果>  
お歳暮シーズンの贈答用が揃い始めたが、長野産の林檎や県内産・和歌山産蜜柑が不作で前年の7割程度値上がり。贈答シーズンに向けて、さらに価格が高くなる可能性がある。
91. <福井県 各種商品>  
長靴・ブーツ等の季節商品に動きが出たが、ファッション全体は停滞。食品もドラッグストアやスーパーとの競争が激化。また人手不足感が一段と厳しく、賃金上昇についていけない小規模店は一段と経営が厳しくなっている。
92. <滋賀県 お茶>  
人件費上昇と販売価格の釣り合いが取れず、営業中止や経営悪化による廃業も出てきている。
93. <鳥取県 水産物>  
紅ズワイガニは前年比30%程度も高騰しており、年末需要に向けての手当てに苦慮。松葉蟹も小型が多く、親蟹の入荷量も安定しないために高値で推移している。

## 商店街

94. <青森県 青森市>  
中旬から寒い日が多く、まとまった降雪もあったことから、冬物の衣類や靴の売れ行きはまずまず。しかし、この時期になると観光客も少なく、関連する業種は冬籠りの感が強い。
95. <新潟県 新発田市>  
飲食店は忘新年会の予約取りが始まったが、予算・回数ともに前年を下回る低調な滑り出しで落ち込み分を取り戻すのは難しそうだ。物販やサービスも客数・客単価ともに低下傾向。
96. <石川県 片町>  
12月の繁忙期を前に比較的落ち着いているが、寒さでアパレル関係は防寒・マフラー等も早い時期から売れている。内外ともに観光客の入りが多く、和食を中心とした飲食店も好調。
97. <京都府 京都市>  
消費者の財布の紐は固く、特に年金受給者の消費は悪化傾向。眼鏡商品等の販売単価は3万円以上も値下がっている。
98. <大阪府 大阪市>  
冬の到来や集客イベント等の好条件に反して、食品を除く物販は低迷が継続。企業の好業績が消費者の購買力増大に反映されていない。
99. <兵庫県 豊岡市>  
天候不順からファッション関係は売上不振の模様。また急速なネット販売の拡大により、商店街の対面販売は年々厳しくなっており、何一つ明るい材料がない。

## サービス

100. <青森県 旅館>  
冬季に入り、集客は鈍化。雇用状況も特に飲食部門が非常に厳しい。価格を値上げしても、人件費や間接人件費（外注費、資材の値上がり）に消えそうである。



101. <岩手県 建物サービス>

最低賃金の改定と人手不足が重なり、景況は厳しさを増すばかりだ。景気の回復感など皆無。

102. <宮城県 自動車整備>

急に寒くなり、冬タイヤへの交換作業が始まって忙しい。新車販売はデータ不正問題から全体で2.6%の減。日産は出荷を再開したが納車遅れや再検査等で登録が進まなかった。

103. <福島県 理容>

月末に急に寒くなった影響で客足が鈍化。積雪等から客足が減り、売上も低迷した。

104. <岡山県 異業種>

建設は人手不足で新規工事が受注できない状況が継続。機械加工も案件はあるが、人手不足から2交替等での対応が続く。受注断念のケースも発生している。

105. <高知県 飲食店>

年末にかけて上向き感はあるが、特に原料野菜は物によっては倍以上も高騰しているために収益は低迷。また忘年会・新年会等の宴席予約も少ない。

106. <佐賀県 ソフトウェア>

売上高は増加傾向だが、人材確保(採用)・要員手配が難しく、外部依存度も増加しているために製造原価も上昇し、収益を圧迫している。

107. <熊本県 その他>

新規イベント発注等があり、多少が売上増だが、警備員不足が深刻。本来ならば売上の上昇に繋がるはずだが徐々に頭打ちの状況。

108. <沖縄県 ビルメンテナンス>

改定された最低賃金の増加分を契約額に反映させることが極めて厳しく、内部調整も限界のため、経営状況は一段と悪化。業務に必要な資格者や人手が不足しており、事業拡大も難しい。

## 建設業

109. <岩手県 塗装工事>

例年になく人手不足、天候不順等により工期が遅れている。このままでは12月まで工期の延長が余儀なくされることにより、一層の諸経費増加や収益の悪化が予想される。

110. <群馬県 電気工事>

大型物件は低迷しているが、小・中規模の受注は増加傾向。しかし、都心への流出等による若手技術者不足の状態は続いており、工期遵守のために時間外労働や休日出勤が急増。

111. <新潟県 左官工事>

職人数の減少により、仕事量の割には繁忙期が続いている。

112. <山梨県 型枠工事>

年末に向けて多忙だが、来年は仕事量の減少が予想される。材料高騰や社会保険加入の義務化で人件費が上昇しており、工事単価を下げない企業努力が必要である。

113. <富山県 鉄骨・鉄筋>

鋼材、副資材、運送費等が値上がりし、ここに来て地場物件の鉄骨価格が上昇している。

114. <香川県 総合建設>

人手不足が依然として継続。「働き方改革」の法整備が進められているが、若年層の入職・定着のためには時間外労働の是正・週休2日制といったことが必要不可欠だが、そのためには安定的な経営環境が前提であることを理解して欲しい。

115. <長崎県 建設>

公共施設・民間マンション等の外壁改修や民間新築に動きがあるが、様々な工種の技能者・専門工が不足し、元請企業は人材確保に苦慮。技術系の中途求人にも応募がない。

#### 116. <大分県 コンクリートポンプ>

年末にかけて工事量が増加傾向にあるが、車輛、作業員ともに全く足りない。外国人労働者を含めて人材確保に努めている状態だが、良い結果には繋がらない。来年も人材確保が課題。

### 運輸業

#### 117. <山形県 一般貨物>

石油販売会社から毎週、原油価格上昇による軽油の値上げ情報が来ており、その度ごとに価格も高くなり、低迷する業況がさらに悪化している。

#### 118. <群馬県 一般貨物>

繁閑の差が大きく、月末等に仕事が集中して車両の手配に苦慮。また労働時間短縮のために高速道路利用も増加しており、費用負担が増加。先月の台風被害で野菜類の輸送量も少ない。

#### 119. <静岡県 道路貨物運送>

年末向けの荷動きは良くなっているが、軽油価格の大幅な値上がりが収益に影響している。

#### 120. <和歌山県 一般貨物>

軽油価格が対前月比で1ℓあたり5.0円の値上げであり、2ヶ月連続の大幅な上昇。燃料費の高騰・高速料金の値上げが経営を圧迫。また車両制限令違反者への通行料割引停止措置も強化され、組合員の脱退が増加している。

#### 121. <島根県 道路貨物>

荷動き・稼働率ともに前年並みだが、長距離輸送は帰り荷不足で片荷運行せざるを得ないため、収益悪化。燃料の大幅値上げや灯油等の需要期を迎えて、今後の経営環境が懸念される。

#### 122. <広島県 道路貨物>

ドライバー不足で円滑な車両運行が出来ず、年末の繁忙期を前に深刻な問題となっている。

#### 123. <山口県 一般貨物>

継続するドライバー不足と「働き方改革」による稼働時間の短縮が目立つ。燃料費は3円の値上げ。賃金と油価格の上昇が経営を圧迫している。軽油引取税の引き下げ要望も強い。

#### 124. <徳島県 貨物>

全般的に取扱量は前年並みで推移しているが、軽油価格が6月から約11円の値上げとなり、大幅な収益減となっている。また、依然として運転手不足も深刻な状況。

#### 125. <宮崎県 貨物>

燃料価格は9月から徐々に値上げが続いていたが、11月も大幅な上昇となった。要因は、原油の生産調整による価格高騰等とされているが、今後の見通しも明確でなく、不安は募るばかりである。